

株式会社プラスロボが提供するサービス「スケッター」を活用した
市内介護事業所と有償ボランティアをマッチングする実証事業 事業報告書

1. 実績（数値）

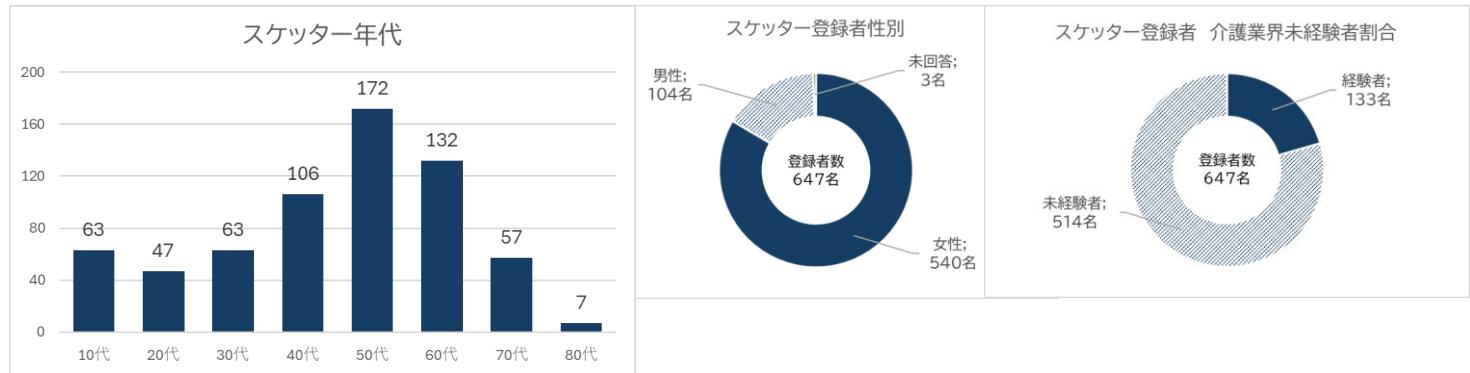
【令和7年2月1日（土）～7月31日（木）の無料トライアル期間における登録状況等の推移】

| | 登録施設数 (累計) | スケッター登録数 (累計) | マッチング数 (累計) | マッチング数 (月計) | マッチング数 (平均/日) |
|-------|---------------|------------------|----------------|----------------|------------------|
| 2月28日 | 29 | 256 | 56 | 56 | 2.00 |
| 3月31日 | 35 | 424 | 197 | 141 | 4.55 |
| 4月30日 | 39 | 505 | 376 | 179 | 5.97 |
| 5月31日 | 41 | 550 | 588 | 212 | 6.84 |
| 6月30日 | 43 | 597 | 785 | 197 | 6.57 |
| 7月31日 | 44 | 647 | 971 | 186 | 6.00 |

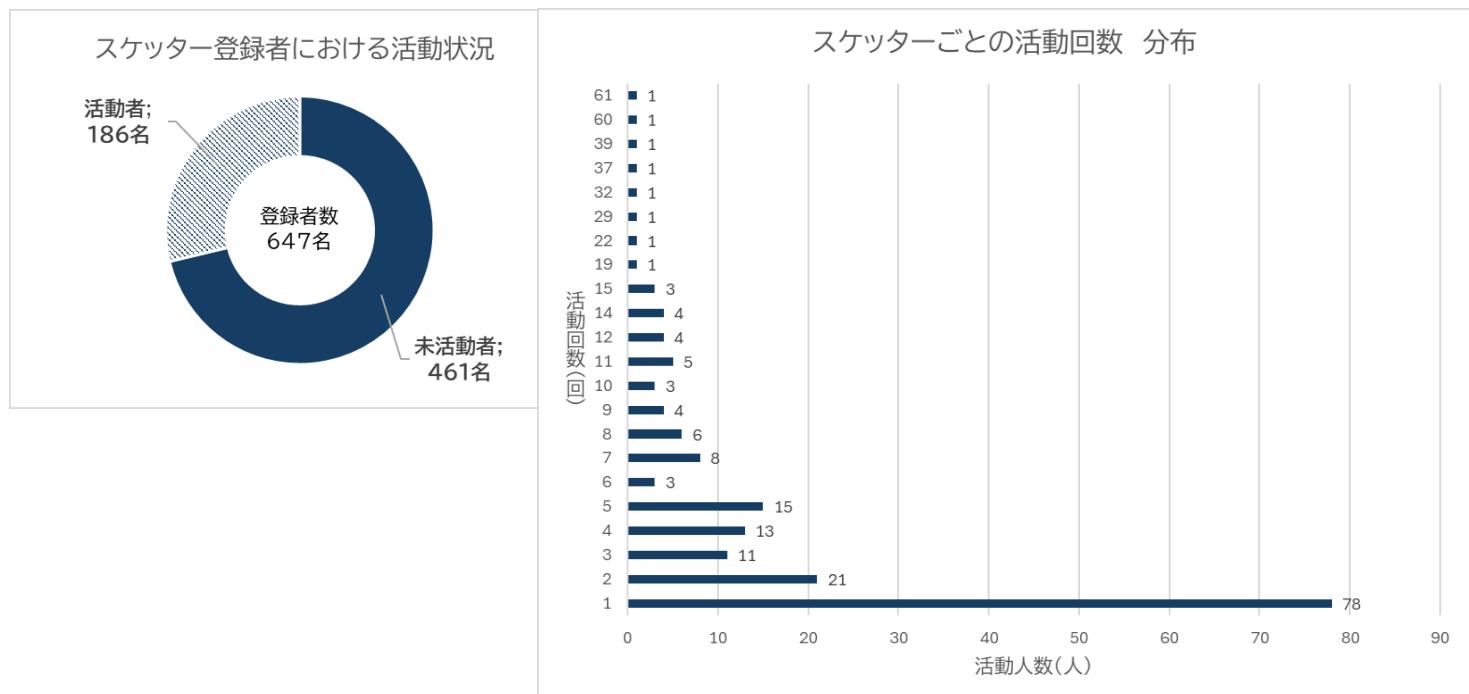
※マッチング数…集計日時点までにお手伝いを完了した件数。

協定締結当初の目標であるマッチング 1,000 件は、8月6日（水）時点で達成。

【R7.7.31 時点のスケッター登録者（647名）属性】



【R7.7.31 時点のマッチング数（971 件）からみる活動の分布】



2. アンケート

無料トライアル期間終了後、介護事業所及びスケッターに登録した市民向けにアンケートを実施し、今回の実証事業に係る効果検証を実施。

(1) 実証事業参加事業所向けアンケート（株）プラスロボ実施

回答数：27事業所（送付対象39事業所のうち）

実施時期：令和7年7月8日～8月25日

(2) 市内介護事業所向けアンケート（仙台市介護保険課実施）

回答数：30事業所（送付対象1,342件のうち）

実施時期：令和7年8月19日～9月12日

(3) スケッター登録市民向けアンケート（株）プラスロボ実施

回答数：101名（送付対象599名のうち）

実施時期：令和7年7月31日～8月25日

3. まとめ（メリットとデメリット（課題））

【事業所側】

| メリット | デメリット（課題） |
|--|--|
| <p>① 業務負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none">配膳下膳やお皿洗い、見守り等の周辺業務のお手伝い支援により、職員の業務負担軽減につながった。 <p>② 地域との接点構築</p> <ul style="list-style-type: none">地域住民が多く参画したことにより交流が促進され、地域とのつながり構築や強化につながった。 <p>③ 広報効果</p> <ul style="list-style-type: none">事業所のことを知ってもらうきっかけとなったほか、良い口コミ（体験レポート）を書いてもらえたことによって、職員の意欲向上につながった。 <p>④ 人材採用</p> <ul style="list-style-type: none">介護やボランティアに関心を持つ人が施設と関わるきっかけとなり、ミスマッチのない職員採用につながった事業所もあった。 | <p>① 費用負担への懸念</p> <ul style="list-style-type: none">無料トライアル終了後の継続利用に対して、費用面での不安が多く挙げられた。特に小規模事業所にとって月額2～3万円のシステム利用料が大きな障壁となっている。 <p>② 受け入れ体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none">業務の切り出しや職員の理解不足、毎回異なるスケッターへの指導負担が課題。 <p>③ 無資格・未経験者を起用することへの懸念</p> <ul style="list-style-type: none">無資格者を起用することによる業務適性や責任の所在、素性のわからない者を施設に入れることに対しての不安を挙げる声もあった。 <p>④ 需給ギャップ（人材採用面）</p> <ul style="list-style-type: none">将来的な人材採用につなげることを目的としている施設にとっては、長く働くことのできる若年層を求めていたため、なかなか人材採用につながらないという声もあった。 |

| | |
|--|--|
| <p>⑤ 利用者の満足度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務負担軽減による利用者への関わり時間の増加、レクリエーションの充実などにより、利用者の満足度向上につながった。 | |
|--|--|

【市民（スケッター）側】

| メリット | デメリット（課題） |
|--|---|
| <p>① 介護分野への理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際の介護現場でのお手伝いを通じて、介護職への关心や尊敬が高まった。 <p>② 社会参加意欲の喚起・ミスマッチ防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 未経験者や福祉業界に関心の高い市民が多く、潜在的な福祉人材の掘り起こしや社会参加意欲の喚起につながった。 「将来の介護職へ就職の際の参考となつた」という声もあり、将来の就職時のミスマッチ防止にもつながった。 | <p>① 募集地域と参加施設の少なさによる参加機会の偏り</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集施設の少なさや地域の偏り、交通アクセスの課題により、参加意欲があっても参加が難しいスケッターが数多くいた。 |